

1. 地震活動に関する資料

3頁 2005年12月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

22日	三重県北部	深さ 42km	M3.5
24日	愛知県西部	深さ 43km	M4.8
28日	三重県中部	深さ 51km	M3.7
28日	愛知県西部	深さ 13km	M3.8

南関東における M 3.5 の地震は、

1日	埼玉県北部	深さ 65km	M3.9
2日	茨城県南部	深さ 50km	M4.2
12日	千葉県北東部	深さ 38km	M3.5
25日	茨城県沖	深さ 34km	M4.3
26日	東京湾	深さ 70km	M3.6
28日	茨城県南部	深さ 53km	M4.8
28日	千葉県北西部	深さ 66km	M4.1
28日	千葉県北西部	深さ 67km	M4.4
31日	茨城県南部	深さ 61km	M4.1

その他の地域で目立った地震は、

2日	八丈島近海	深さ 54km	M4.4
3日	紀伊半島沖	深さ 41km	M4.3
3日	紀伊半島沖	深さ 42km	M4.4

また、静岡県西部の深さ 17~18km で 12 日に最大 M2.0 のまとまった活動があった。伊豆半島東方沖では、20 日から 21 日にかけて最大 M1.5 のまとまった活動（地震回数 17 回）があった。静岡県中部の深さ 9~18km で、27 日に最大 M2.1 のまとまった活動があった。伊豆大島近海では、30 日に最大 M0.9 のまとまった活動があった。

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震（M7.4）の M4 以上の余震は 2 回。

4頁 2006年1月の活動（1日~28日）

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

9日	愛知県東部	深さ 41km	M3.9
11日	神奈川県西部	深さ 20km	M3.4

南関東における M 3.5 の地震は、

14日	茨城県南部	深さ 52km	M4.3
16日	茨城県沖	深さ 49km	M4.0

21日 鹿島灘 深さ 46km M3.9

22日 茨城県南部 深さ 42km M3.5

その他の地域で目立った地震は、

1日 福井県嶺北 深さ 10km M4.1

また、駿河湾の深さ 11~13km で1日から4日にかけて最大 M1.8 のまとまった活動があった。静岡県西部の深さ 18~20km で1日から5日にかけて最大 M0.9 のまとまった活動があった。新島・神津島近海の深さ 11~14km で7日から10日にかけて最大 M2.2 のまとまった活動があった。伊豆大島近海ではしばしばまとまった活動があり、最大 M は 1.8 であった。山梨県東部(富士山)では低周波地震がしばしば発生し、最大 M は 0.8 であった。25日から伊豆半島東方沖でまとまった活動があった(28日までの最大はM1.1)。

2004年9月5日の東海道沖の地震(M7.4)のM4以上の余震はなかった。

5頁 東海地域の地震活動指数

固着域：地殻内の短期・中期ともにやや高い(7)。フィリピン海プレート内は短期・中期ともにほぼ平常(4~3)。

愛知県：地殻内の短期は高く(8)、中期もやや高い(7)。フィリピン海プレート内は短期・中期ともに平常(4)である。

浜名湖：西側では短期・中期ともに平常(4)。東側では短期がやや低く(1)、中期も低い(0)。東側では短期で見ると2000年半ばから低めの指数(1~4)の変動を繰り返し1になっている。全域では短期・中期ともにやや低い(2~1)。

駿河湾：短期・中期ともにほぼ平常(5~6)。

6~7頁 固着域

(1997/01/01~2006/1/25 M 1.1)

[地殻内]

特段の変化なし。

[フィリピン海プレート内]

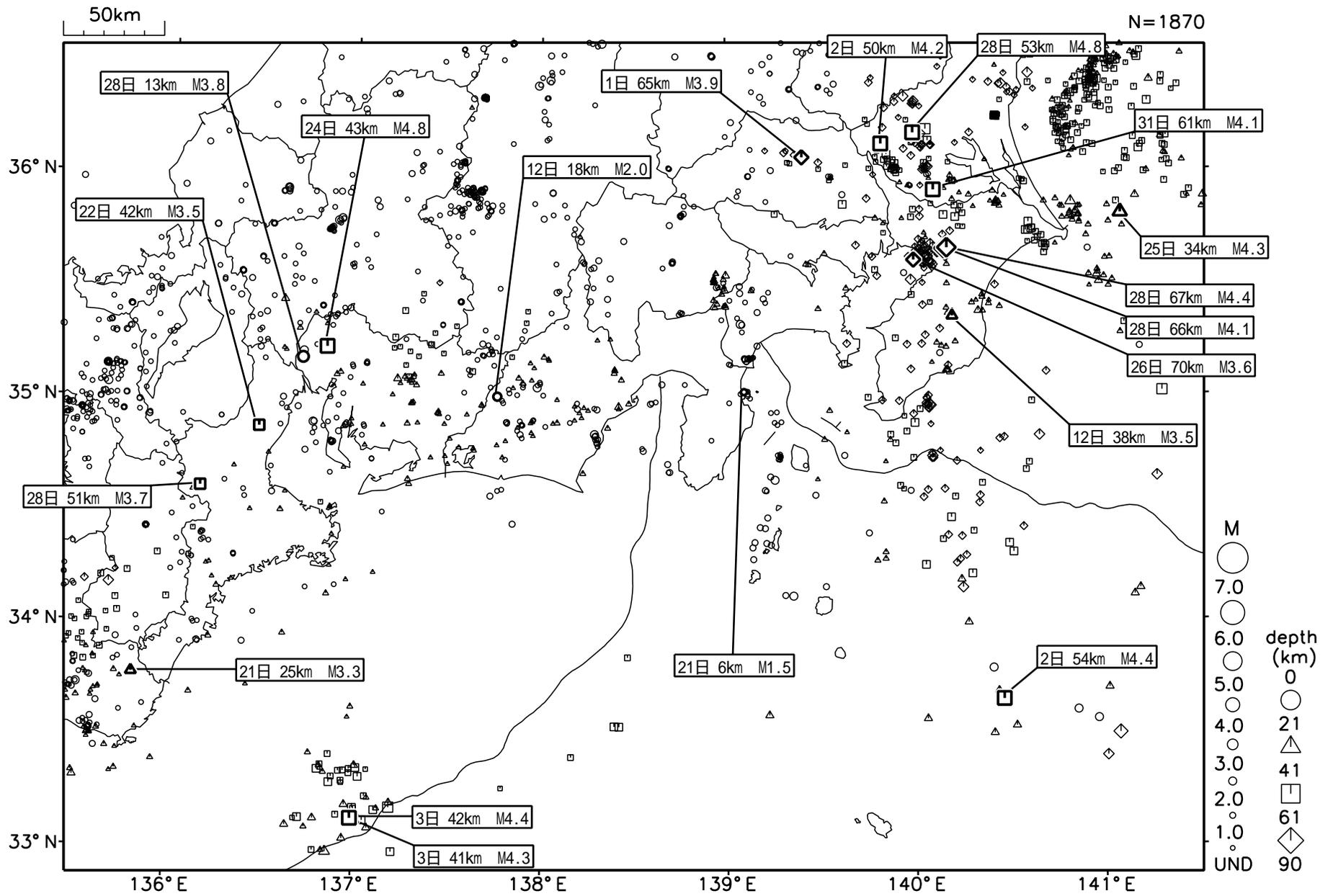
特段の変化なし。

8頁 浜名湖(1995/01/01~2006/1/25 M 1.1: フィリピン海プレート内)

[東側] 2000年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が継続している。最近では2003年6月5日 M3.9、2004年5月6日 M2.8が目立つ。

[西側] 2003年半ばから継続していた西部のクラスタの活動が低下している。

東海・南関東地域の地震活動 2005年12月



気象庁作成

東海地域の地震活動指数

(クラスタを除いた地震回数による)

2006年1月25日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリピン海プレート	地殻内	フィリピン海プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	7	4	8	4	4	2	1	5
短期地震回数 (平均)	12 (6.18)	6 (5.83)	10 (4.37)	12 (12.63)	2 (2.38)	2 (6.08)	0 (3.70)	8 (6.18)
中期活動指数	7	3	7	4	4	1	0	6
中期地震回数 (平均)	26 (18.53)	13 (17.50)	19 (13.11)	40 (37.90)	4 (4.76)	5 (12.15)	1 (7.39)	16 (12.37)

* Mしきい値：

M \geq 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

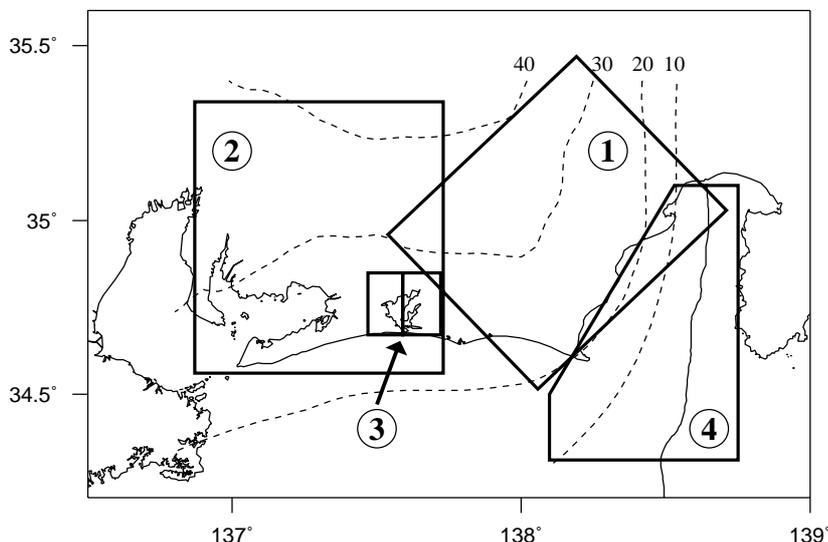
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

1991年－2000年（10年間）：駿河湾

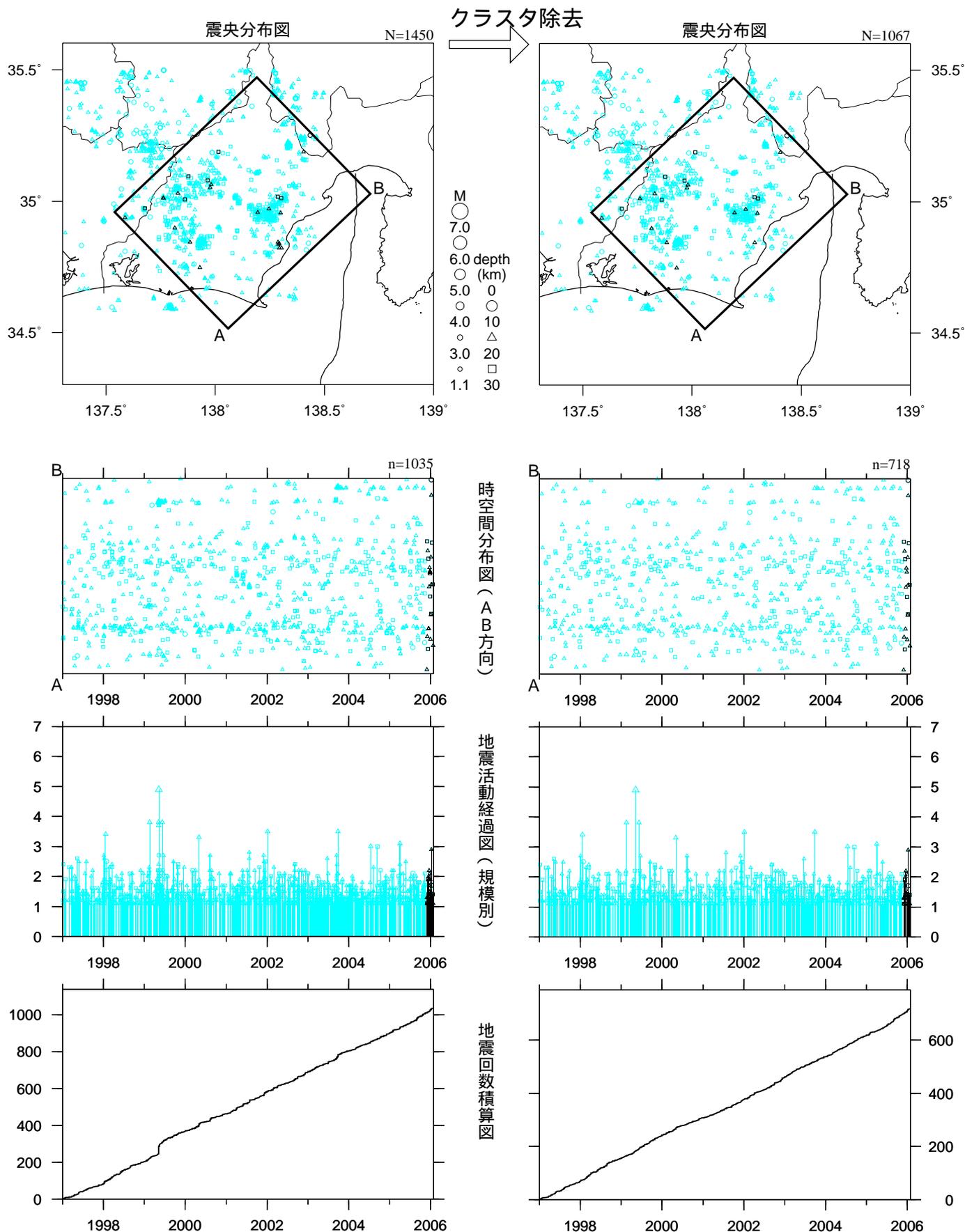


指数	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	
5	15	
4	40	平常
3	15	↓
2	10	
1	4	
0	1	少

* プレート境界の等深線を波線で示す。

固着域 (地殻内)

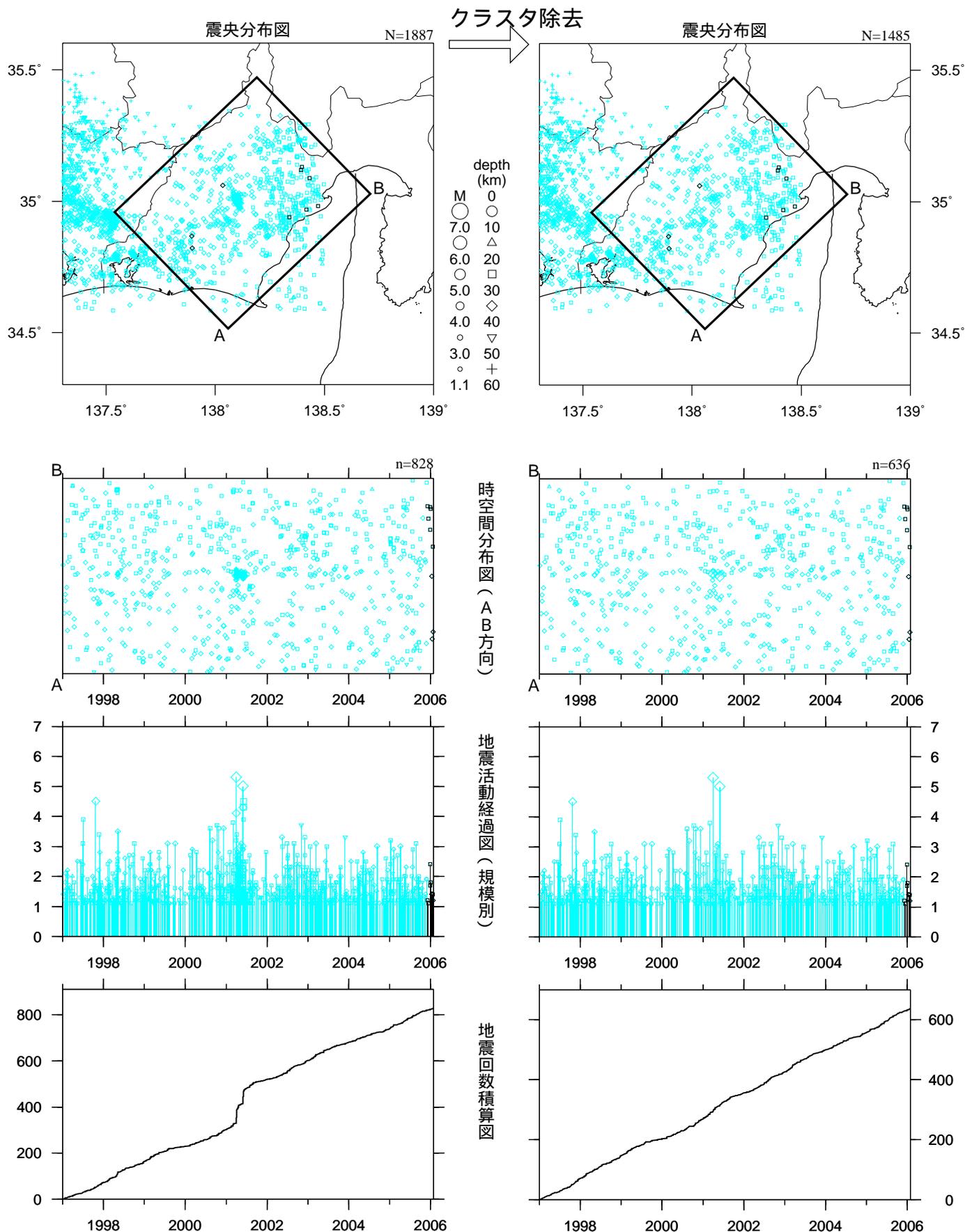
1997/1/1~2006/1/25 M ≥ 1.1



* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
 最近60日以内の地震を濃く表示

固着域 (フィリピン海プレート内)

1997/ 1/ 1~2006/ 1/ 25 M ≥ 1.1

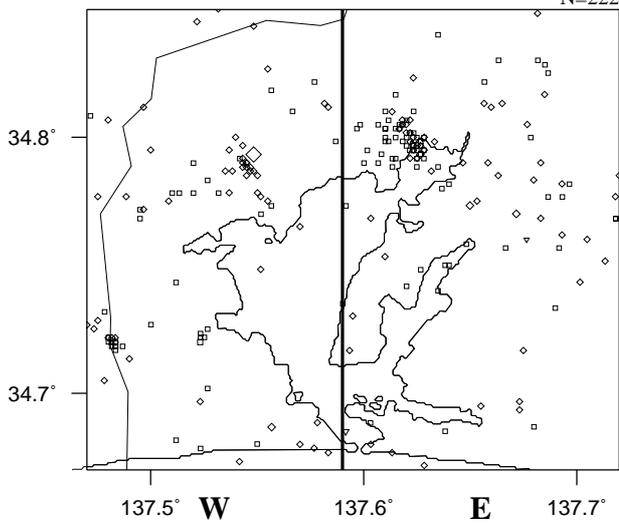


* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
 最近60日以内の地震を濃く表示

浜名湖 (フィリピン海プレート内)

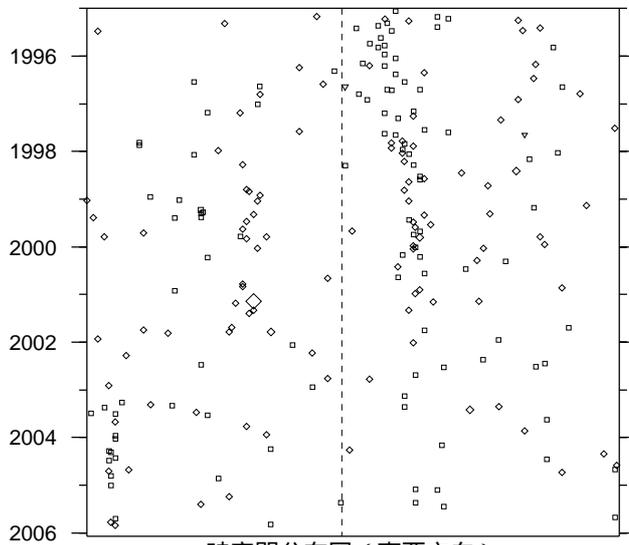
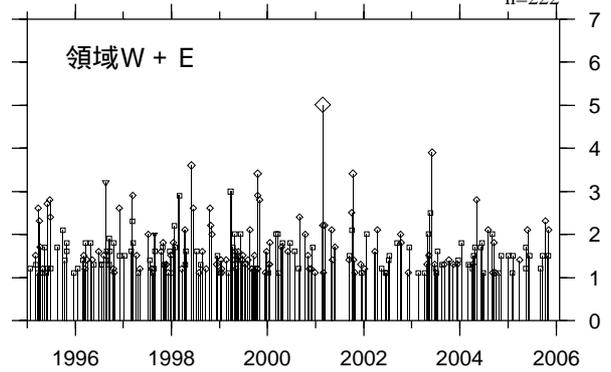
1995/ 1/ 1~2006/ 1/ 25 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ

震央分布図

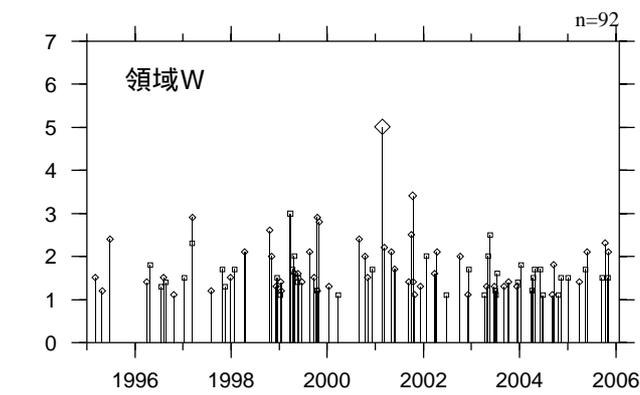
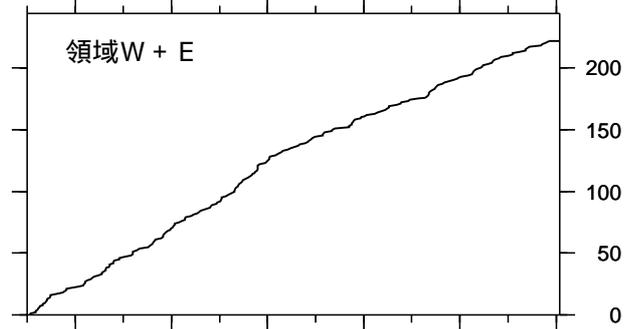


depth (km)
 M 0 ○
 7.0 10 ○
 6.0 20 △
 5.0 30 ○
 4.0 40 ◇
 3.0 50 ○
 1.1 60 +

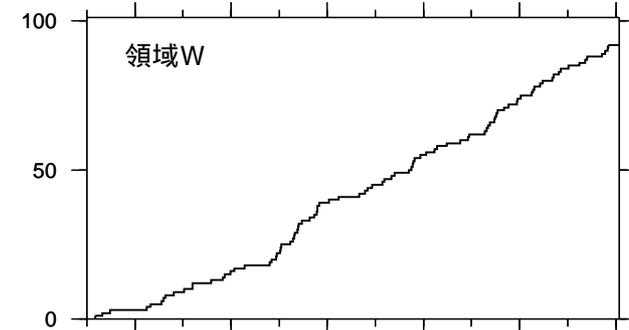
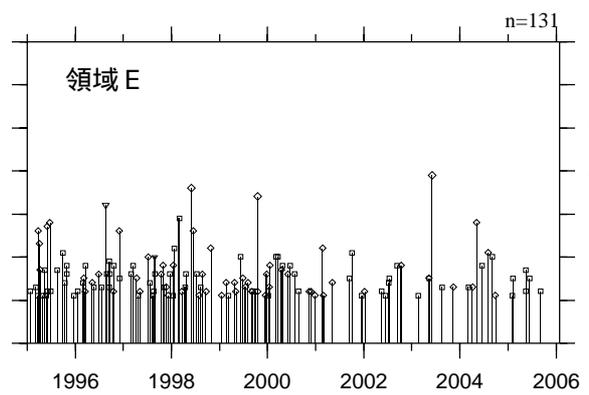
* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
 地震活動経過図 (規模別)



地震回数積算図



地震活動経過図 (規模別)



地震回数積算図

